第23回ＮＩＣＥ　ＴＶ放送番組審議会だより

【第23回ＮＩＣＥ　ＴＶ放送番組審議会議事概要】

１）開催日時：2021年2月24日（水）　午後1時30分～午後3時00分

２）開催場所：魚津市役所第一会議室

３）出席委員（敬称略）

委員（審議会会長）	大﨑委員	（社会福祉法人海望福祉会あんどの里）
委員	川岸委員	（魚津ロータリークラブ）
〃	高橋委員	（魚津市美術協会）
〃	大野委員	（魚津市商店街連盟）
〃	河内委員	（魚津法人会女性部会）
〃	沢井委員	（富山県電気工事工業組合　新川支部）
〃	荒木委員	（魚津商工会議所青年部）
〃	横谷委員	（魚津商工会議所女性部）
〃	四十万委員	（魚津市副市長）

４）議題

（１）ＮＩＣＥ　ＴＶ自主制作番組について

①「ナイスキャッチＵＯＺＵ」

②「アーカイブで振り返る　たてもん祭り」

③「アーカイブで振り返る　せり込み蝶六踊り街流し」

④富山県ケーブルテレビ協議会共同制作　新春特別番組「ＴＯＹＡＭＡ再発見！気になる富山のソレナンケ」

（２）魚津市制作番組について

「まちかど魚津　2020年12月前半号」

５）　議事概要

（１）－①「ナイスキャッチＵＯＺＵ」について

・コロナ禍で不自由ななか、日々の制作と放送に苦労されていることに敬意を表します。
マスコミがコロナを恐ろしいものとあおる傾向にあるなか、感染症の専門医が分かりやすく説明されたのは安心できてよかった。

・感染症対策の手洗いシーンなどは手元とテロップを重ねない方がよい。マスクの作り方や付け方なども高齢の方や小型のテレビ画面で見ている方にも見やすいように、背景を白ではなく濃い色にした方がよい。

・市内を地域おこし協力隊が巡る「UO!STA」は、全地区を回っていないのなら、別の形でも地区を紹介してほしい。

・料理のコーナーは、男性の目から見ても評判の良い取り組みだと思う。調味料は適当で料理を作るというのが、男の料理なので、男性目線で番組を作ってもよいかと思う。番組を見てアレンジする方もいると思う。

・「魚津フルーツ便り　ふるふるね」は、とっても美味しそうな魚津のフルーツが映っていて周りの景色も素晴らしく自然の豊かさを感じた。番組を通して魚津をもう一度じっくり巡ってみようかなと思う人が増えたり、市外県外に発信できたら集客にもつながるのではないかと思った。

（１）－②「アーカイブで振り返る　たてもん祭り」について

・保存会会長のインタビューもよく、初めて見る映像も多くありよかった。今後も魚津の歴史を紐解く番組を制作してもよいのではないか。

・生まれが魚津ではないので、たてもんにしても、蝶六にしても歴史などが一切分からないでの、番組を通して知ることができた。
今後も移住される方がいらっしゃると思うので、こういった映像のアーカイブの必要性も感じました。

（１）－③「アーカイブで振り返る　せり込み蝶六踊り街流し」について

・数多くある蝶六踊りの指導をしてほしい。魚津音頭の掘り起こしもしてほしい。

・蝶六踊りを踊っていた年配の方が蝶六踊りの現場に足を運べなくても、テレビで放映されるようになってとても喜んでいます。これからも年配の方目線で番組を作っていただければと思います。

（１）－④新春特別番組「ＴＯＹＡＭＡ再発見！気になる富山のソレナンケ」について

・新春特別番組は今までにないリモート収録など工夫されていた。
地元の坪野鉱泉については、これまでのネガティブなイメージが覆されていて大変良かった。

・「魚津のソレナンケ」として地元を掘り下げてみればよいかと思いました。

（２）「まちかど魚津　2020 年 12 月前半号」について

・分かりやすくて良く見ている。市職員の小芝居的なものより情報をきちっと伝えてほしい。

・市職員の寸劇が面白くて、３回くらい見た。

・番組の固いイメージが砕けて柔らかくなった部分もあった。

・健康など皆さんの継続性だとか個人に任せるものは、多少の小芝居とかあっても良いのではないかと思う。
災害とか防災情報とかそういうものについては、しっかりとした伝え方が必要なのかと思います。

委員からは以上のような意見がありました。

ＮＩＣＥ　ＴＶでは放送番組審議会でいただいたご意見を参考に、今後もより地域に密着した番組づくりを目指してまいります。

以上